

国際医療福祉大学成田病院が開催 市民公開講座

海外で注意すべき感染症から身を守るための備えや対策と、海外渡航前から帰国後の健康をサポートするトラベルクリニックについて、医師が分かりやすく解説します。

日時＝6月28日(土) 午後1時30分～3時

会場＝国際医療福祉大学成田病院

テーマ＝海外で感染症にかからないために

講師＝加藤康幸さん(同病院感染症科部長)

定員＝100人(先着順)

参加費＝無料

※申し込みは同病院(☎35-5600)へ。

つながることが力になる

若年性認知症本人ミーティング

日時＝9月13日(土) 午後1時30分～4時30分

会場＝保健福祉館

内容＝参加者同士で話したり、運動やレクリエーションなどをしたりして交流する

対象＝医師から若年性認知症と診断された人やその家族

定員＝10人(先着順)

参加費＝無料

申込方法＝成田市社会福祉協議会(☎27-7755)へ。専用フォームからも申し込みます



専用フォーム

※くわしくは同協議会へ。

みんなが暮らしやすい社会を考えよう

認知症について

認知症に関する知識を深めるために、参加してみませんか。

日時＝7月12日(土) 午後1時30分～3時

会場＝もりんぴあこうづ

講師＝杉本浩司さん(メディカル・ケア・サービス品質向上推進部長)

対象＝市内在住・在勤・在学の18歳以上の人

定員と参加費＝30人(先着順)・無料

※申し込みは6月4日(水)から、もりんぴあこうづ(☎27-5252、第4月曜日は休館)へ。

専門家から学ぶ

成田赤十字病院公開健康講座

日時＝6月28日(土) 午後2時～3時30分

会場＝成田赤十字病院

テーマ＝血液の病気について～血液のがんについて正しく知ろう

講師＝増田真一さん(同病院第一血液腫瘍科部長)

定員と参加費＝80人(先着順)・無料

申込方法＝6月2日(月)か

ら同病院社会課(☎22-

2311 内線7508)へ。

同病院ホームページか

ら申し込みます



成田赤十字病院
ホームページ

※くわしくは同病院社会課へ。

講義と実習を通して学ぶ

介護者教室

期日＝6月17日(火)

会場＝市役所6階大会議室

テーマと時間・講師

○身体への負担の少ない介護法について…午前9時30分～11時・高見澤一樹さん(成田まるめろクリニック理学療法士)

○成年後見制度と終活の話…午前11時10分～午後0時40分・林信貴さん(成田市ニュータウン地域包括支援センター長)

対象＝市内在住・在勤・在学の人

定員＝各30人(先着順)

参加費＝無料

申込方法＝6月13日(金)までに介護保険課(☎20-1545)へ。専用フォームからも申し込みます



専用フォーム

※くわしくは同課へ。

専門医が応じます

ものの忘れ相談

日時＝7月5日(土) 午前9時30分から

会場＝保健福祉館

内容＝専門医による個別相談など

対象＝物忘れが気になる人、認知症の不安がある人やその家族など

定員＝4人(先着順)

参加費＝無料

※申し込みは7月3日(木)までに介護保険課(☎20-1545)へ。

一般健康相談

【歯の健康相談】

6月4日(水) 午後1時30分～2時30分

【こころの健康相談(予約制)】

6月3日(火)・27日(金) 午後1時30分～4時(27日は午後3時まで)

※会場は保健福祉館です。予約・詳細は健康増進課(☎27-1111)へ。

成田市 医療相談ほっとライン

専門の医療スタッフが、24時間年中無休、無料で相談に応じます。

☎0120-24-1130

日曜祝日診療機関

都合により休診する場合があります。来診前に電話で問い合わせてください。

成田病院(午前中・押畑・☎22-1500)

藤倉クリニック(第2・4日曜日の午前中・幸町・☎22-1158)

ひらの内科(日曜日の午前中・ウイング土屋・☎23-8070)

なのはなクリニック(日曜日と祝日の午前中・吉岡・☎49-0533)

成田国際空港クリニック(空港内・☎050-3196-5701)

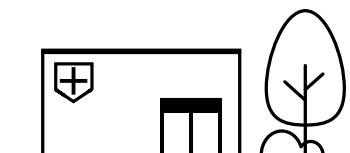
急病診療所

☎27-1116

赤坂1-3-1(保健福祉館敷地内)

受付日時	診療科目
毎日(休診日なし) 午後7時～10時45分	内科 小児科
日曜日、祝日、振替休日、8月13日～15日、12月29日～1月3日 午前10時～午後4時45分	内科 小児科 外科
祝日(日曜日を除く)、振替休日、8月13日～15日、12月29日～1月3日 午前10時～午後4時45分	歯科

※症状や年齢によって対応が難しい場合があります。電話は受付時間の15分前から受け付けていますので、事前に連絡してください。



福祉と健康

Health and Welfare

中途失聴者・難聴者を支援

手話学習会と聞こうかい・話そう会

参加費＝無料(手話学習会に初めて参加する人はテキスト代1,200円)

手話学習会

日時＝6月7日(土) 午後1時30分～4時

会場＝佐倉市中央公民館

聞こうかい・話そう会

日時＝6月21日(土) 午後1時30分～4時

会場＝佐倉市志津公民館

内容＝要約筆記を使って交流する

※中途失聴者・難聴者以外の人も参加できます。参加を希望する人は当日直接会場へ。くわしくは千葉県中途失聴者・難聴者協会印旛事務所(☎047-432-8039 FAX043-461-6533)へ。



楽しみながら体力づくり

やさしいピラティス教室

ゆったりとした動きで正しい姿勢や呼吸法などを学びます。

初心者でも楽しめるので、気軽に参加してみませんか。

日時＝7月1日(火)・8日(火)・15日(火)(全3回) 午後1時～2時30分

会場＝久住公民館

対象＝市内在住・在勤・在学の18歳以上の人

定員＝12人(応募者多数は抽選)

参加費＝無料

持ち物＝ヨガマットまたはバスタオル、運動のできる服装、タオル、飲み物

申込方法＝6月12日(木)(必着)までに、はがきまたはEメールで住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・市外在住の人は勤務先や学校名・行事名を久住公民館(〒286-0814 幡谷922-2 Eメールkominkan@city.narita.chiba.jp)へ。専用フォームからも申し込めます

※くわしくは同館(☎36-1646、月曜日は休館)へ。



専用フォーム

医療機関で受診できます

個別健(検)診

実施期間や申し込み方法は医療機関によって異なります。

期間＝1月31日(土)まで

費用＝無料(胃内視鏡検査は3,000円)

健康診査(特定健診・後期高齢者健診)・

胸部レントゲン・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診

対象＝40歳以上の人

前立腺検診

対象＝50～70歳の偶数年齢の男性

胃がん検診(胃内視鏡検査)

対象＝50歳以上で、令和6年度に市の検診で同検査を受けていない人

乳がん検診(マンモグラフィ検査)

対象＝40歳以上で、令和6年度に市の検診で同検査を受けていない人

子宮頸がん検診

対象＝20歳以上で、令和6年度に市の検診で同検診を受けていない人

※実施医療機関は、広報なりた5月1日

号や市ホームページで確認してください。くわしくは健康増進課(☎27-1111)へ。



市ホームページ

ジェネリック医薬品

切り替えで費用負担の軽減を

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬の特許が切れた後に、新薬と同じ有効成分で作られた安価な薬です。ジェネリック医薬品の普及は、一人一人の自己負担額や市・健康保険組合などの負担額の削減につながります。特徴やメリットを理解して、ジェネリック医薬品を使ってみませんか。

効き目や安全性は新薬と同等

ジェネリック医薬品の開発では、医薬品メーカーがさまざまな試験を行います。その結果、効き目や安全性が新薬と同等であると証明されたものだけが、厚生労働大臣によってジェネリック医薬品として承認されます。

切り替えることで自己負担が軽減

新薬の研究開発には、長い歳月と数百億円(ばくだい)の費用がかかるといわれています。新薬の価格には、その莫大な開発費用が反映されています。

これに比べてジェネリック医薬品は、すでに有効性や安全性が確認されていることから、開発費用を安く抑えられます。そのため、価格は新薬に比べて3～5割程度安く、ジェネリック医薬品に切り替えることで自己負担額を減らすことができます。

ただし、全ての病気・新薬に対してジェネリック医薬品があるわけではないので、切り替えできない場合もあります。まずは医師または薬剤師に相談してください。

対象者には通知を送付

市では「ジェネリック医薬品に関する差額通知」を6月下旬にはがきで送付します。これは、処方を受けた薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担額がどのくらい安くなるかをお知らせするものです。通知の対象は、18歳以上の国民健康保険加入者で、自己負担額が一定額以上軽減できると見込まれる人です。

通知を希望しない人は、6月10日(火)までに保険年金課(☎050-1808-7160)へ連絡してください。すでに送付を希望しない旨の連絡をしている人については必要ありません。

※くわしくは同課へ。

